

春ちゃんの虫とり日記 パート3

呉市立広小学校 3年 見世 小春

1 研究しようと思ったわけ

1年生と2年生の夏休みの科学研究で、見つけたこん虫をかんさつし、「はるちゃんの虫とり日記」としてまとめることで、わたしは、こん虫のことが大好きになりました。いつも、トンボやチョウがとんでいたらおいかけて、木や草むらの中で鳴き声が聞こえてくると、「どんなこん虫がいるのかな。」と探してみたりしたくなります。今年も見つけたこん虫たちを観察することで、もっとこん虫となかよしになれたらうれしいです。

2 研究の計画

- ① 家や家の回り、近くの公園、山や林や池の周りで虫見つけをする。
- ② こん虫を見つけたら、あみでつかまえて虫かご等に入れて観察する。
- ③ つかまえたこん虫の名前を調べて、絵と文で記ろくする。
- ④ かんさつを終えたら、その日のうちにつかまえたところにもどす。

3 研究の準備

調べるために必要な物

- 虫とりあみ
- 虫かご
- 虫めがね
- スマートフォン
- 図かん
- 色えんぴつ

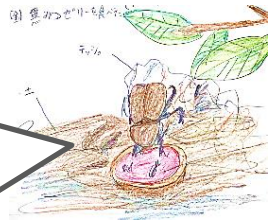


4 虫とり日記

カブトムシを3日間かってみた

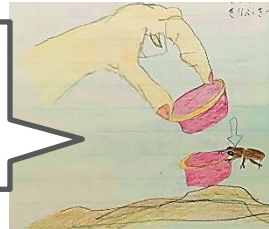
7月24日

水そうに、はたけの土と葉っぱと黒みつゼリーを入れておきました。
夕方ごろ出てきて、黒みつゼリーに頭をつっこんで食べていました。



7月25日

新しいゼリーにかえたら、よろこんで食べて、土の中へもぐっていきました。



7月26日

カブトムシのおへやをもようがえ。
お昼は、土のなか。夜、11時ごろ土から出てきて、ゼリーをいっぱい食べていました。



キアゲハせいこう!! やったね。

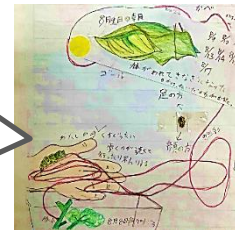
8月5日

今年も、はたけのパセリの中で、キアゲハのよう虫を見つけました。
成虫になるまで育てます。



8月9日~8月17日

さなぎになる旅がはじまりました。
気に入った場所を見つけるまで、ウロウロずっと歩きます。今年はおいかけてみました。



8月17日

さなぎの色がかわった!!
黒い羽のもようがはっきり見える。
丸いぼうにつかまらせると、羽を広げてもかかしはじめた。3時間ぐらいぼうにつかまってとぶじゅんぴをしました。



5 わかったこと

こん虫は、「さなぎ」になるか、ならないかで育ち方がちがうことが分かりました。

さなぎになるこん虫

よう虫と成虫の形が全くちがうものになり、習性もちがう。よう虫は、羽の形が外から見えない。

- (れい)
- ・ゴマダラカミキリ
 - ・コガネムシ
 - ・アサギマダラ など

かんぜんへんたい

さなぎにならないこん虫

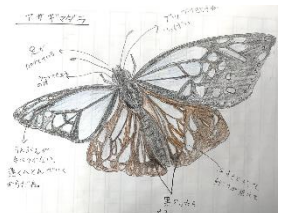
さなぎの時代がない。よう虫がだっぴするごとに、外から見える小さい羽が少しずつ大きくなる。

- (れい)
- ・シオカラトンボ
 - ・ミズカマキリ
 - ・アブラゼミ など

ふかんぜんへんたい

6 振り返り

- ・虫とりに行くのが一番たのしかったです。
- ・あみにこん虫が入ったとき、すごくうれしいです。あみの中からつかまえる時、やさしい気持ちになって、そっとつかんであげます。
- ・はじめてつかまえたこん虫を、絵や文にかく時、ワクワクしました。今年につかまえたことのないこん虫をつかまえることができ、絵や文にかくのが楽しかったです。
- ・キリギリスやゾウムシを本当に見る事ができてよかったです。
- ・さい後に「アサギマダラ」をつかまえました。わたしとお父さんとお母さんが大こうふんしました。みんな一度は見てみたかったチョウだったからです。いい思い出になりました。



1年生、2年生のときの研究を継続して、丁寧に観察・記録をしています。今年も、今まで捕まえたことのないこん虫を捕まえることに挑戦したり、こん虫を育て、観察したりしていました。観察するこん虫がなるべく自然にいる状態であることに配慮していることから、こん虫の生態への理解が深く、とても大切にしている様子が伝わりました。